

令和3年度 第6回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2021.08.04 (水) 18:00-19:00

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高相（担当理事） 今釜（委員長） 相澤 奥田  
金村 小西 須田 手束  
西田 町野（書記） 村上 大和 湯川（敬称略）  
欠席委員： 大谷 川口 酒井 中西 宮腰（敬称略）

議事

1. 報告事項

（ア）日本脊椎脊髄病学会理事会（2021年7月）：高相先生

高相担当理事から理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. 本委員会で進めているアンケート調査研究（酒井先生と手束先生の脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性についての研究、川口先生の脊椎手術における部位確認に関する研究）について、その研究結果を今後学会発表や論文化を行う前に JSSR 理事会において報告することになった。9月27日の理事会において5分程度で発表予定。論文の投稿先についても今後検討する。
2. 今後の本委員会はコロナ禍にてオンライン会議を継続していく方向。

（イ）貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA 安全医療推進委員会アドバイザー）

酒井先生に代わり、今釜委員長から下記報告がされた。

1. 7月26日のJOA安全医療推進感染対策委員会において、本委員会で進めている脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性についての研究結果を発表した。
2. 周術期抗血栓薬使用についてJOAでは独自のアンケートをせず、本委員会同様のアンケート調査をJOAから専門分野学会（日本人工関節学会と日本骨折治療学会など）へ要請予定。
3. 本委員会調査結果も含めた専門分野アンケート結果を、JOAでお纏め頂きJOAから循環器学会へ提示する予定。
4. 貸出器械（Loan Instruments）洗浄（プリオン病感染予防含む）に関しては、整形外科手術全般に及ぶため、JOA安全医療推進委員会を中心に今後対応していく予定。

## 2. 検討・報告事項

### (ア) 脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究：

#### 酒井先生、手束先生

手束先生からアンケート集計結果について下記報告がされた。

1. 調査対象となった施設のうち、72%の施設が周術期抗血栓薬使用のガイドラインを有しており、ガイドラインを有している施設の方が、周術期の抗血小板薬を原則休薬している率が高かった。一方で抗凝固薬については差がなかった。
2. JSSR 脊椎脊髄外科指導医と非指導医の間での比較検討において、術後血種の緊急手術経験は指導医が91%と非指導医57%より多かった。
3. 最終的なアンケート回答率は約32%であり、今後更にサブ解析を行っていく。
4. アンケート調査結果を来年のJSSR学会で発表する予定。

### (イ) 脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生に代わり、今釜委員長から下記報告がされた。

1. 最終的に1200件以上のアンケート回答が集まり、現在結果を解析中。
2. 今後学会発表や論文化を行う前に、アンケート調査結果についてJSSR理事会で発表いただくことを川口先生に依頼する。

### (ウ) JSSR 統合型DB進捗状況：金村先生

金村先生からJSSR統合型DB進捗について下記報告がされた。

1. システムのステージング環境を構築中
2. レジストリ開始に当たり、会員情報であるマイページの登録施設の整理作業を行っている。
3. 8月末にプロトタイプ構築完了予定、9月1日の本委員会でプロトタイプを提示可能な予定
4. 9月からパイロット登録を開始（登録期間1カ月をめぐり）、10月中にフィードバックを行い、システムの改修を行う予定。
5. 11月に本登録開始（登録対象期間1か月、調査期間1か月間）予定。
6. 2022年度の登録に関しても早々に検討必要（期間限定あるいは通年登録）。
7. 2021年後合併症調査は登録期間1ヶ月間なのでより悉皆性の高いものを目指すことを共有した。

## 3. 次回、次々回委員会開催日

- ・約1ヶ月後のJSSR理事会開催後に予定（1時間の見込み）

- ・ 理事会が最終月曜日のため、月によっては月初の水曜日に予定
- ・ 【次回】 2021.09.01（水） 18 時～
- ・ 【次々回】 2021.09.29（水） 18 時～